

第7回 豊岡市竹野地域小中一貫校開設準備委員会 会議録（要旨）

- I 日時** 2024年10月30日（水）19時00分～20時05分
- II 場所** 豊岡市役所 竹野庁舎 2階
竹野地区コミュニティセンター 多目的ホール
- III 出席者** ≪委員≫20名（委員名簿順）
田中博文委員長、加藤未来副委員長、古保治郎委員、田村高志委員、富森孝委員、仲治寿幸委員、大井真由美委員、上野真希委員、宮崎裕紀委員、太田垣輝尚委員、山本英里子委員、長谷川博子委員、福田達也委員、高田健一郎委員、宇川博久委員、間智子委員、小林昌弘委員、増田克志委員、上田彩乃委員
米田達也豊岡市議会議員（オブザーバー）
（欠席） 辻正孝委員
≪事務局≫7名
正木一郎教育次長、寺坂浩司課長（学校教育課）、服部隆参事（学校教育課）、木之瀬晋弥課長（教育総務課）、野崎律男参事（同）、川瀬貴之主幹（同）、今井雄一主査（同）
- IV 傍聴者** 2名
- V 内容**
- 1 開 会
 - 2 挨拶
委員長から挨拶
 - 3 議 事
 - (1) 校章について（最終候補の選定）

第6回開設準備委員会で選出した校章候補6点について、デザインの平準化のためデジタルデータとして清書したものを資料として事前に送付、委員にはそれぞれ2点を選んでもらった。

当日、集計を行い、選出数が多いものから順に、最終候補作品を1点、次点2点（同票のため）を選定した。

最終候補作品については、後日、専門業者にデザインの調整（バランス調整・着色等）を依頼し、何パターンか作成してもらったうえ、委員の代表によりデザインを確定することとした。

（委員の代表を5名選出）
 - (2) 施設の整備予定について（報告）

施設整備にかかる各種工事の事業者が決まったことから、進捗状況と今後のスケジュール等を報告した。

 - ・工事が可能な部分については、夏休みから着手している。
 - ・10月11日には、地域の代表の方、工事の関係者等約50人が参加し、工事の安全祈願

祭が行われた。

- ・11月9日からは仮設工事が行われる。
- ・2週間に1回程度、工程会議を行い、学校関係者と工事関係者とで、工事の進捗状況と今後の予定、授業への影響等を調整しながら順次進めていく。 等

(3) 学校から

生徒会の子どもたちが制作した制服の紹介動画を視聴した。その後、竹野中学校長から竹野小・中の教職員で検討を進めている（仮称）竹野学園の教育課程、行事予定等の案について説明があった。

- ・ワークショップで出された意見を踏めて、（仮称）竹野学園のグランドデザインを資料のとおり検討している。
- ・発達段階に合わせ、4－3－2のブロックごとに目標を定め、4年生、7年生、9年生が各ブロックのリーダーとなり学校活動を行っていく。小学校6年間、中学校3年間で学ぶ内容については義務教育学校になっても変わりはない。
- ・今後の職員配置にもよるが、一部教科担任制を導入し、例えば、5・6年生から「英語科」を取り入れたい。また、中学校の音楽教員が全校生を教えるようなこともできればと考えている。
- ・ブロック制や一部教科担任制等で、いろいろな先生が子どもたちにかかわり、小学校籍・中学校籍の教員同士の交流や情報共有につなげたい。
- ・特色のあるカリキュラムとしては、「たけのふるさと科（仮称）」とし、ふるさとを題材とした探究的な学習、地域の方にも協力いただき、地域と密着して、できれば地域に発信していく、地域の課題を解決していく等の取組にしていきたい。
名称については、まだ仮のものなので、良い名前があれば提案していただきたい。
- ・学校行事については、6年生の修学旅行等、名前が変わるものもあるが、これまでと同じ内容として考えている。

(4) 開設準備委員会 中間報告（案）について

2025年4月に竹野学園を開設するための条例の改正案を12月議会で提案する予定としており、これが一つの区切りとなる。

可決されれば、これまで学校名につけていた「仮称」も不要となる。

これまで開設準備委員会で検討してきた内容について、後日開催する検討状況報告会で説明し意見を聞いたうえで、中間報告としてとりまとめた。本日の資料「中間報告書（案）」はその原案である。

(5) その他

P T A等からの報告

- ・11月6日 P T A、区長会長、地域コミュニティの3者により閉校・開校記念行事についての協議を予定
- ・11月15日 小中合同臨時総会を予定

4 その他

(1) (仮称) 竹野学園 協議状況報告会の開催について (お知らせ)

・ 11月21日 検討状況報告会を開催予定

(保護者向けとしているが、地域の方どなたでも参加可能)

(2) 次回予定

・ 次回の8回開設準備委員会は1月頃、PTAや閉校記念行事の検討の進捗状況を踏まえて開催する予定。

5 閉会

VI 主な発言内容等 (要旨)

※意見・質問があった部分のみ掲載

(1) 校章について (最終候補の選定)

《委員長》

事務局からの説明のとおり、委員が選んだもののうち、最も多かった作品を最終候補としてすることについて、意見等はあるか。

(意見・質問等なし)

《委員長》

次に、事務局から、最終候補の作品を事業者に清書してもらい、出てきたデザインについて、委員の代表により決定することでどうかとの説明があった。

特に意見がなければ、私とその他、誰か立候補はないか。

《A委員》

推薦でもよいか。推薦でもよければB委員にお願いをしたい。

《B委員》

入れと言われればメンバーに入るが、PTAからも誰か入っていただきたい。

《委員長》

それでは、私とB委員、PTAからC委員、D委員、E委員の計5名でお願いしたい。

(2) 施設の整備予定について (報告)

(意見・質問等なし)

(3) 学校から

《竹野中学校長》

この場をお借りして、制服の紹介動画を観ていただきたい。

企画・撮影・編集、すべて生徒会の子どもたちが作成したものである。温かい目で観ていただければありがたい。

(動画視聴)

紹介動画について、異議等がなければ、入学説明会や今後予定されている地域での説明会でも流させていただきます。

続いて、教育課程の検討状況・学校の行事予定等についての検討状況を報告させていただきます。

(資料を元に説明)

《委員長》

竹野中学校長から、教育課程や学校行事についての検討状況の説明があった。これについて、意見や質問はあるか。

《B委員》

行事予定のうち、6年生の宿泊学習だが、これまでは修学旅行であったかと思う。他の学校は広島や京都・大阪に行くが、これが宿泊学習となるとどうなるのか。修学旅行と同じ内容なのか、学習が中心で近くでの宿泊となるのか。

《竹野中学校長》

良い名前が見つかっていないだけであり、修学旅行並みで行う。

《竹野小学校長》

平和学習として今年と同じ内容である。既に、旅行先も予約済である。

《竹野中学校長》

中学校は東京方面で計画している。

《F委員》

よく練られている教育課程だと思う。その中で、資料の「STEAM教育の捉え方」にある内容で、「実社会での問題発見・解決に活かしていく」とあるが、あまり夢のようなことではなく、竹野の地域のために自分たちができることを具体的に考えていけるような内容になれば良いと思う。

《竹野中学校長》

学校の中のことでなく、地域の課題のことなので、コミュニティ・スクールの委員や、地域の方が、「こんな課題があるのだけれど中学生はどう思っている？中学生ならどうする？」といった投げ掛けから協力していただければと思う。

《委員長》

STEAM教育について、少し補足説明をしていただきたい。

《竹野小学校長》

今日、防災授業として公開の授業を行った。竹野地区の防災について、自分たちができることを考えるとして、前は中竹野ではどんなことが課題なのか、今回は浜側ではどうなのかと考えた。当然、津波の話が出てきた。その中で、避難訓練が大事であるとか、共助、家族会議、火事の備え等、子どもたちからいろいろな意見が出てくる。そこから、避難訓練であれば、実際に避難した人から話を聞いてくる、その中で課題は何か、わからないことがあったら実際に地元の人から聞いてくるのが大切であるという授業を行った。

話は戻ってSTEAM教育についてだが、今日も討論を行うなかで…これは国語の学習にあたる。次に、データとしてハザードマップをみて水深等について考える。これは理科の観点である。さらに、データをグラフ化する、これは算数である。このよ

うに、これまでに習ったいろいろな科目を組み合わせで総合的学習の時間とする。最後に、ロイロノートとして、I P A Dのソフトに振り返りを入れることで、他の児童の意見・考えも共有できる。そんなふうに、国語、算数、理科、I C T等様々な視点を取り入れて授業を行っている。これがS T E A M教育であると考えていただいたら良いのではないかと。

(4) 開設準備委員会 中間報告(案)について

《委員長》

事務局からの説明について、意見はあるか。

(一部資料訂正の指摘あり。その他、意見・質問等なし)

(5) その他 部会等からの報告

《G委員》

P T Aを代表して、報告をさせていただく。

竹野小学校・竹野中学校のP T Aを学園で一つのP T A組織にするということで検討を進めている。11月15日に小中合同の臨時総会を開き、新しい組織の規約等について諮ることとしている。P T A役員を選考にも影響するため、11月にさせていただくものである。新しい学園として生まれれば、また、P T A総会を開くという流れで考えている。

次に、閉校式・開校式にあわせて行う記念行事についてどうするかという協議を、11月6日にP T Aと区長会長、コミュニティの3者が集まって検討することとしている。

《委員長》

G委員から、P T Aや閉校記念行事の検討について報告があった。これに対して、意見等はあるか。

(意見・質問等なし)

(以上)